

2019年6月30日

第33期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

## 貸借対照表及び個別注記表

カナート株式会社

# 貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	2,884,253	(負債の部)	3,227,207
流動資産	1,504,508	流動負債	1,819,256
現金及び預金	398,073	買掛金	1,165,518
売掛金	420,049	短期借入金	159,919
商品	430,124	一年内返済予定長期借入金	79,080
貯蔵品	5,188	未払金	118,985
前払費用	72,337	リース債務	1,337
未収法人税等	0	未払費用	158,890
その他流動資産	177,755	未払法人税等	4,685
仮出金	978	未払事業所税	16,451
		未払消費税等	62,415
		前受金	17,921
		預り金	24,511
		賞与引当金	9,540
固定資産	1,379,744	固定負債	1,407,950
有形固定資産	669,360	長期借入金	1,126,468
建物附属設備	396,093	退職給付引当金	223,595
構築物	8,995	資産除去債務	8,252
機械及び装置	21,288	預り保証金	49,635
器具及び備品	241,715		
リース資産	1,267	(純資産の部)	△342,954
		株主資本	△342,954
無形固定資産	757	資本金	10,000
ソフトウェア	757	資本剰余金	207,250
施設利用権	0	その他資本剰余金	207,250
		利益剰余金	△560,204
投資その他の資産	709,627	利益準備金	2,500
差入保証金	708,809	その他利益剰余金	△562,704
その他投資	817	繰越利益剰余金	△562,704
合 計	2,884,253	合 計	2,884,253

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

商 品 売価還元法による原価法

貯 蔵 品 先入先出法による原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

リース資産以  
外の有形固定

定額法

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が平成21年2月28日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

無形固定資産

定額法

4. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金

役員賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

店舗閉鎖損失引当金

閉店に伴い発生する損失に備えるため、合理的に見積もった閉店関連の損失見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

## 当期純損益金額

当期純損失 280,509千円